

職業実践専門課程の基本情報について

| 学校名            | 設置認可年月日   | 校長名           | 所在地   |  |      |     |        |   |      |      |       |   |     |     |            |   |     |     |       |   |     |    |             |   |     |     |
|----------------|---|---------------|---|--|------|-----|--------|---|------|------|-------|---|-----|-----|------------|---|-----|-----|-------|---|-----|----|-------------|---|-----|-----|
| 仙台医療福祉専門学校     | 昭和56年3月31日  | 鈴木 一樹         | 〒980-0021<br>宮城県仙台市青葉区中央4-5-2<br>(電話) 022-722-8631  |  |      |     |        |   |      |      |       |   |     |     |            |   |     |     |       |   |     |    |             |   |     |     |
| 設置者名           | 設立認可年月日   | 代表者名          | 所在地   |  |      |     |        |   |      |      |       |   |     |     |            |   |     |     |       |   |     |    |             |   |     |     |
| 学校法人北杜学園       | 昭和56年3月31日  | 鈴木 一樹         | 〒980-0021<br>宮城県仙台市青葉区中央4-7-20<br>(電話) 022-217-8880 |  |      |     |        |   |      |      |       |   |     |     |            |   |     |     |       |   |     |    |             |   |     |     |
| 分野             | 認定課程名   | 認定学科名         | 専門士   | 高度専門士  |      |     |        |   |      |      |       |   |     |     |            |   |     |     |       |   |     |    |             |   |     |     |
| 商業実務           | 商業実務専門課程  | 医薬品販売学科       | 平成23年文部科学省<br>告示第166号                               | —  |      |     |        |   |      |      |       |   |     |     |            |   |     |     |       |   |     |    |             |   |     |     |
| 学科の目的          | 学校教育法に基づき、職業人として必要な能力の育成を基本とし、商業実務関係の分野において活躍するための技能と教養を教授し、地域社会に貢献する人材を育成する。   |               |   |  |      |     |        |   |      |      |       |   |     |     |            |   |     |     |       |   |     |    |             |   |     |     |
| 認定年月日          | 平成28年2月29日  |               |   |  |      |     |        |   |      |      |       |   |     |     |            |   |     |     |       |   |     |    |             |   |     |     |
| 修業年限           | 昼夜  | 講義            | 演習  | 実習   | 実験   | 実技  |        |   |      |      |       |   |     |     |            |   |     |     |       |   |     |    |             |   |     |     |
| 2年             | 2175時間  | 975時間         | 240時間   | 960時間  | 0時間  | 0時間 |        |   |      |      |       |   |     |     |            |   |     |     |       |   |     |    |             |   |     |     |
| 生徒総定員          | 生徒定員  | 留学生数(生徒定員の内数) | 専任教員数   | 兼任教員数  | 総教員数 |     |        |   |      |      |       |   |     |     |            |   |     |     |       |   |     |    |             |   |     |     |
| 80人            | 39人   | 0人            | 3人  | 12人  | 15人  |     |        |   |      |      |       |   |     |     |            |   |     |     |       |   |     |    |             |   |     |     |
| 学期制度           | ■前期:4月1日~9月30日<br>■後期:10月1日~3月31日   |               | 成績評価  | ■成績表: 有<br>■成績評価の基準・方法<br>40点以上 定期考査(内規に明記)  |      |     |        |   |      |      |       |   |     |     |            |   |     |     |       |   |     |    |             |   |     |     |
| 長期休み           | ■学年始:なし<br>■夏季:1年 7月18日~8月18日<br>2年 8月8日~8月25日<br>■冬季:12月25日~1月5日<br>■学年末:2月19日~3月31日   |               | 卒業・進級条件   | 出席日数:3/4以上<br>各科目授業時間数:2/3以上<br>成績:修得合計時間(進級:800時間以上、卒業1700時間以上)   |      |     |        |   |      |      |       |   |     |     |            |   |     |     |       |   |     |    |             |   |     |     |
| 学修支援等          | ■クラス担任制: 有<br>■個別相談・指導等の対応<br>出席不良通知・三者面談   |               | 課外活動  | ■課外活動の種類<br>ボランティア・地域清掃・献血・募金活動・学校祭実行委員会<br><br>■サークル活動: 有   |      |     |        |   |      |      |       |   |     |     |            |   |     |     |       |   |     |    |             |   |     |     |
| 就職等の状況※2       | ■主な就職先・業界等(平成28年度卒業生)<br>ドラッグストア・薬局・薬店・保険調剤薬局<br>■就職指導内容<br>就職ガイダンス・就職セミナー・模擬面接<br>■卒業生数 : 27 人<br>■就職希望者数 : 25 人<br>■就職者数 : 25 人<br>■就職率 : 100 %<br>■卒業者に占める就職者の割合 : 92.6 %<br>■その他<br><br>(平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報) |               | 主な学修成果(資格・検定等)※3                                    | <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録販売者</td> <td>③</td> <td>28人</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>サービス接遇検定3級</td> <td>③</td> <td>29人</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>販売士3級</td> <td>③</td> <td>16人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>POP広告クリエイター</td> <td>③</td> <td>30人</td> <td>11人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。<br/>①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの<br/>②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの<br/>③その他(民間検定等)</p> |      |     | 資格・検定名 | 種 | 受験者数 | 合格者数 | 登録販売者 | ③ | 28人 | 27人 | サービス接遇検定3級 | ③ | 29人 | 25人 | 販売士3級 | ③ | 16人 | 9人 | POP広告クリエイター | ③ | 30人 | 11人 |
| 資格・検定名         | 種   | 受験者数          | 合格者数  |  |      |     |        |   |      |      |       |   |     |     |            |   |     |     |       |   |     |    |             |   |     |     |
| 登録販売者          | ③   | 28人           | 27人   |  |      |     |        |   |      |      |       |   |     |     |            |   |     |     |       |   |     |    |             |   |     |     |
| サービス接遇検定3級     | ③   | 29人           | 25人   |  |      |     |        |   |      |      |       |   |     |     |            |   |     |     |       |   |     |    |             |   |     |     |
| 販売士3級          | ③   | 16人           | 9人  |  |      |     |        |   |      |      |       |   |     |     |            |   |     |     |       |   |     |    |             |   |     |     |
| POP広告クリエイター    | ③   | 30人           | 11人   |  |      |     |        |   |      |      |       |   |     |     |            |   |     |     |       |   |     |    |             |   |     |     |
| 中途退学の現状        | ■中途退学者 4 名<br>平成28年4月1日時点において、在学者55名(平成28年4月1日入学者を含む)<br>平成29年3月31日時点において、在学者51名(平成29年3月31日卒業生を含む)<br>■中途退学の主な理由<br>進路変更<br>■中退防止・中退者支援のための取組<br>オリエンテーション時における職業の意識付け、個人面談、交流会等のイベント、相談室の活用                              |               | ■中退率 7.3 %  |  |      |     |        |   |      |      |       |   |     |     |            |   |     |     |       |   |     |    |             |   |     |     |
| 経済的支援制度        | ■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有<br>北杜学園 奨学金制度(給付)、北杜学園 学費提携ローン、北杜学園 納付金延納制度、仙台医療福祉専門学校 特待生制度<br>■専門実践教育訓練給付: 非給付対象  |               |   |  |      |     |        |   |      |      |       |   |     |     |            |   |     |     |       |   |     |    |             |   |     |     |
| 第三者による学校評価     | ■民間の評価機関等から第三者評価: 無   |               |   |  |      |     |        |   |      |      |       |   |     |     |            |   |     |     |       |   |     |    |             |   |     |     |
| 当該学科のホームページURL | URL: <a href="http://sif.ac.jp/">http://sif.ac.jp/</a>  |               |   |  |      |     |        |   |      |      |       |   |     |     |            |   |     |     |       |   |     |    |             |   |     |     |

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

仙台医療福祉専門学校では、関係業界等のニーズを踏まえた実践的かつ専門的な人材育成を図ることを目的として、(1)業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員、(2)専攻分野に関する学会や学術機関等の有識者、(3)実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員といった外部委員と、内部委員(教育課程の編成の責任者・専任教員)とから編成される、教育課程編成委員会を置く。教育課程編成委員会は、以下を踏まえた教育課程の編成に関する提言を行う。

- ①学生の就業先の業界における人材の専門性に関する動向
- ②国又は地域の産業振興の方向性
- ③実務に関する知識、技術、技能などの専門的事項

教育課程編成委員会の提言は、校長のリーダーシップのもと、教務運営委員会を通じて、授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫に活かすよう努めるものとする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、校長の諮問機関として以下の事項について審議し、提言を行う。

- ①授業科目の設定及び内容に関する事項
- ②カリキュラムの改善、充実に関する事項
- ③演習及び実習の内容に関する事項
- ④授業内容及び方法の改善、充実に関する事項
- ⑤演習及び実習の効果測定の評価基準に関する事項
- ⑥その他教育課程の編成に関する事項

校長は、教育課程編成委員会の議決及び提言を踏まえ、教務運営委員会を通じて、より実践的かつ専門的な教育課程の編成に努める。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

| 名前     | 所属                       | 任期                       | 種別 |
|--------|--------------------------|--------------------------|----|
| 北村 哲治  | 一般社団法人 仙台市薬剤師会 会長        | 平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年) | ①  |
| 齋藤 達也  | 株式会社 マツモトキヨシ東日本販売 管理部 次長 | 平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年) | ③  |
| 佐藤 秀   | 仙台医療福祉専門学校 学科長(委員長)      |                          |    |
| 梅津 三千男 | 仙台医療福祉専門学校               |                          |    |
| 佐々木 仁  | 仙台医療福祉専門学校 主任            |                          |    |

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回、9月と11月に開催する。

(開催日時)

第1回 平成28年 9月20日 15:30～16:30

第2回 平成28年11月29日 15:30～16:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

学生の就業先の業界における人材の専門性に関する動向、国又は地域の産業振興の方向性、実務に関する知識、技術、技能などの専門的事項について、委員の方々が有する知見に基づいた意見を聴取し、職業実践専門課程としてふさわしい授業科目の開設、または、授業内容・方法の改善・工夫等に活かしていく。

平成29年度に向けては、ドラッグストアでの業務の幅を広げるという観点から「基礎美容学」を新規に開設し、ヘルス&ビューティについてコスメ等も含めた学習を進めていく。また、医療費削減からセルフメディケーションを重視する傾向にあるため、「栄養学」をより特定保健用食品や栄養補助食品についての理解を深める内容に変える。今年度から実施している実習評価については、評価の細分化や、学生からの意見もほしいという実習先からの要望を取り入れる。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学校の教育の方針「実学的思考の重視に立って、医療・福祉分野における専門知識や技術を身につけたスペシャリストの育成を目指す」に基づき、病院・クリニック等の目指す専門分野で見学や実習を行い、専門職業人として必要な組織の理解と医療事務部門を中心とした業務を、実践的かつ専門的に学び、社会性のある医療従事者を目指す。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

実習開始前(1年次4月～6月)に企業より講師を招き、接客対応および企業理念について研修を行う。  
 実習中は期間内に教員が訪問し、学生に対して業務に取り組む姿勢等について指導を行う。  
 実習担当者(店長)より毎月規定勤務時間(80時間)のチェックと業務上の言動に問題があれば、随時本校と企業間で情報交換を行い実習生の指導をする。  
 実習生に実習報告書(月報:勤務実績及び業務内容)を提出させ、問題があれば企業店舗統括者を介して改善・是正に協力してもらう。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

| 科目名   | 科目概要   | 連携企業等                                   |
|-------|--|---|
| 実務実習Ⅰ | ドラッグストアのスタッフとして主に一般用医薬品の販売業務を行う。その他、一般用医薬品の情報提供及び相談の補助業務、管理、貯蔵、陳列、広告に関する業務を行う。(1年次7月～9月実施)   | 株式会社 マツモトキヨシ東日本販売、株式会社 ツルハ、株式会社 ヤマザワ薬品、 |
| 実務実習Ⅱ | ドラッグストアのスタッフとして主に一般用医薬品の販売業務を行う。その他、一般用医薬品の情報提供及び相談の補助業務、管理、貯蔵、陳列、広告に関する業務を行う。(1年次10月～12月実施) | 株式会社 マツモトキヨシ東日本販売、株式会社 ツルハ、株式会社 ヤマザワ薬品  |
| 実務実習Ⅲ | ドラッグストアのスタッフとして主に一般用医薬品の販売業務を行う。その他、一般用医薬品の情報提供及び相談の補助業務、管理、貯蔵、陳列、広告に関する業務を行う。(1年次1月～3月実施)   | 株式会社 マツモトキヨシ東日本販売、株式会社 ツルハ、株式会社 ヤマザワ薬品  |
| 実務実習Ⅳ | ドラッグストアのスタッフとして主に一般用医薬品の販売業務を行う。その他、一般用医薬品の情報提供及び相談の補助業務、管理、貯蔵、陳列、広告に関する業務を行う。(2年次4月～6月実施)   | 株式会社 マツモトキヨシ東日本販売、株式会社 ツルハ、株式会社 ヤマザワ薬品  |

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

仙台医療福祉専門学校では、教員の更なる資質及び指導力の向上を図ることを目的として、「教員研修及び研究に関する規程」に基づき、計画的な研修を実施する。研修は以下の2つに大別される。

- ① 学内研修 企業等から講師を招いた教員研修会や知識、技術、技能等を習得するための教材等の補助等、業務遂行上必要となる知識、技術、技能等を習得するために学内で実施する研修
  - ② 学外研修 職能団体、検定等を主催する協会等が開催する研修会及び研究会等への参加など、業務遂行上必要となる知識、技術、技能等を習得するために学外で実施する研修
- これら研修を通じて、教職員は、必要な知識、技術の向上を図るとともに、新たな業務上の要請に応えるため自ら能力開発に努める。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

「仙台市立病院研修会」

連携先: 仙台市立病院

研修日: 平成29年1月18日

対象: 科目担当教員

内容: 医療従事者として求められる実務内容を再確認し、仕事をするうえで求められる能力や意識の共通理解を図った。

「平成28年度日本薬業専門学校連絡協議会」

連携先: 日本チェーンドラッグ会

研修日: 平成29年3月18日

対象: 科目担当教員

内容: ドラッグストア業界を取り巻く状況下での、新しい資格創設に関する概要説明があり、これに関連する専門学校の養成への変更点について意見及び情報交換を行った。

②指導力の修得・向上のための研修等

「平成28年度 中堅教職員研修」

連携先:一般財団法人職業教育・キャリア教育財団、一般社団法人宮城県専修学校各種学校連合会

日時:平成28年11月16日

対象:中堅教職員

内容:「質の向上を目指した学生との関わり方」がテーマであり、カウンセリングの段階別方法を学び、面談や進路相談等でのアプローチ方法の選択を広げた。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

「検定試験運営にマニュアルについての研修会」

連携先:公益社団法人全国経理教育協会

研修日:平成30年2月13日

対象:科目担当教員

内容:これまで実施された検定試験で発生した問題点を防止、解決する目的で作成されたマニュアル案を基に、正確な検定試験の運営について理解を図る。

「平成28年度日本薬業専門学校連絡協議会」

連携先:日本チェーンドラッグ会

研修日:平成30年3月

対象:科目担当教員

内容:登録販売者試験における制度改正の影響について、最新情報を把握する。

「平成28年度日本薬業専門学校連絡協議会」

連携先:日本チェーンドラッグ会

研修日:平成30年3月

対象:科目担当教員

内容:ドラッグストア業界での今後の取り組み方について、最新情報を把握する。

②指導力の修得・向上のための研修等

「学生が抱えるメンタルヘルスの問題とその対応についての研修会」

連携先:株式会社サーティファイ

日時:平成29年8月24日

対象:科目担当教員

内容:学生のメンタルとどう向き合い、どう考えるかを学ぶ研修会への参加を予定している。コミュニケーションのとり方とその方法の修得を目指し、指導の強化を図る。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

自己点検の評価結果について、その客観性・透明性を高めること、学校と関係する方の理解促進や連携協力により、教育活動、学校運営に係るご助言等を行っていただき、これらの改善を図ろうとするものである。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの評価項目 | 学校が設定する評価項目  |
|-------------|--|
| (1)教育理念・目標  | 1理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)<br>2学校における職業教育の特色は何か<br>3社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか<br>4理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか<br>5各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか |

|          |   |
|----------|---|
| (2) 学校運営 | <p>1 目的等に沿った運営方針が策定されているか<br/> 2 事業計画に沿った運営方針が策定されているか<br/> 3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか<br/> 4 人事、給与に関する制度は整備されているか<br/> 5 教務・財務等の組織設備など意識決定システムは整備されているか<br/> 6 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか<br/> 7 教育活動に関する情報公開が適切になされているか<br/> 8 情報システム化等による業務の効率化が図られているか</p>   |
| (3) 教育活動 | <p>1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか<br/> 2 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか<br/> 3 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか<br/> 4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか<br/> 5 関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか<br/> 6 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか<br/> 7 授業評価の実施・評価体制はあるか<br/> 8 職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか<br/> 9 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか<br/> 10 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか<br/> 11 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか<br/> 12 関連分野における業界との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか<br/> 13 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか<br/> 14 職員の能力開発のための研修等が行われているか</p> |
| (4) 学修成果 | <p>1 就職率の向上が図られているか<br/> 2 資格取得率の向上が図られているか<br/> 3 退学率の低減が図られているか<br/> 4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか<br/> 5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか</p>  |

|                |  |
|----------------|--|
| (5) 学生支援       | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか</li> <li>2 学生相談に関する体制は整備されているか</li> <li>3 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</li> <li>4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか</li> <li>5 課外活動に対する支援体制は整備されているか</li> <li>6 学生の生活環境への支援は行われているか</li> <li>7 保護者と適切に連携しているか</li> <li>8 卒業生への支援体制はあるか</li> <li>9 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか</li> <li>10 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</li> </ul> |
| (6) 教育環境       | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</li> <li>2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか</li> <li>3 防災に対する体制は整備されているか</li> </ul>  |
| (7) 学生の受入れ募集   | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 学生募集活動は、適正に行われているか</li> <li>2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</li> <li>3 学納金は妥当なものとなっているか</li> </ul>  |
| (8) 財務         | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</li> <li>2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</li> <li>3 財務について会計監査が適正に行われているか</li> <li>4 財務情報公開の体制整備はできているか</li> </ul>  |
| (9) 法令等の遵守     | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</li> <li>2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</li> <li>3 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</li> <li>4 自己評価結果を公開しているか</li> </ul>   |
| (10) 社会貢献・地域貢献 | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</li> <li>2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</li> <li>3 地域に対する公開講座、教育訓練（公共職業訓練等）の受託等を積極的に実施しているか</li> </ul>  |
| (11) 国際交流      |  |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

企業等から参画した委員の意見は、学生により良い教育と環境を継続的に提供し、現場で求められる質の高い専門職業人の養成に直結するので、指摘のあった項目については、教務運営委員会等で検討する材料としている。

平成29年度は、ストレスチェックを実施している。これは、厚生労働省が実施を促している「ストレスチェック制度」について、委員から期待される効果の説明を受け、導入に至った。期待される効果はメンタルヘルスの不調を未然に防止することであり、職場の環境改善に繋がる。最終的には質の高い教育に直結し、学生へ有益に還元されるはずであるという内容であった。ストレスチェック制度実施規程を制定したことにより、今後も継続的に実施していく。

## (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

| 名前     | 所属                                   | 任期                           | 種別           |
|--------|--------------------------------------|------------------------------|--------------|
| 戸上 謙一  | 有限会社 ファーマシーすず<br>統括本部 統括部長           | 平成29年4月1日～平成30<br>年3月31日(1年) | 企業等委員        |
| 寺島 裕一  | 仙台厚生病院 医事部医事課 課長                     | 平成29年4月1日～平成30<br>年3月31日(1年) | 企業等委員<br>卒業生 |
| 内海 潤悦  | 宮城県成人病予防協会附属<br>仙台循環器病センター 事務部医事課 課長 | 平成29年4月1日～平成30<br>年3月31日(1年) | 企業等委員<br>卒業生 |
| 齋藤 達也  | 株式会社 マツモトキヨシ東日本販売<br>管理部 次長          | 平成29年4月1日～平成30<br>年3月31日(1年) | 企業等委員        |
| 菅澤 昌也  | 介護老人保健施設 エバーグリーン・イズミ 施設長             | 平成29年4月1日～平成30<br>年3月31日(1年) | 企業等委員<br>卒業生 |
| 工藤 俊平  | 泉第2チェリーこども園 園長                       | 平成29年4月1日～平成30<br>年3月31日(1年) | 企業等委員        |
| 小泉 敦保  | 株式会社 バイタルケア 代表取締役社長                  | 平成29年4月1日～平成30<br>年3月31日(1年) | 企業等委員        |
| 小坂井 秀行 | ブロンプター甲斐 有限会社<br>リハビリテーション部 部長       | 平成29年4月1日～平成30<br>年3月31日(1年) | 企業等委員<br>卒業生 |

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

## (5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL:<http://www.hokuto.ac.jp>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

## (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

仙台医療福祉専門学校では、専修学校の社会的使命と公共性に鑑み、学校ホームページをはじめとして、広く周知を図ることができる方法によって、積極的な情報提供に努める。情報提供を通じて広く社会からのチェックと評価を受け、これをフィードバックして、教育活動その他学校運営の改善に活用する。

## (2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの項目         | 学校が設定する項目                  |
|-------------------|----------------------------|
| (1)学校の概要、目標及び計画   | 学校の概要、目標                   |
| (2)各学科等の教育        | 授業風景(動画)紹介、取得資格・検定、卒業生進路   |
| (3)教職員            | 担当科目教員紹介                   |
| (4)キャリア教育・実践的職業教育 | 実践的実習紹介、就職支援               |
| (5)様々な教育活動・教育環境   | 学校行事、クラブ・サークル活動            |
| (6)学生の生活支援        | Q&A(入学編、学校編、学習編、就職編)、学生相談室 |
| (7)学生納付金・修学支援     | 学納金、各種奨学金、学費減免制度の紹介        |
| (8)学校の財務          | 学園の財務状況                    |
| (9)学校評価           | 学校関係者評価結果                  |
| (10)国際連携の状況       | —                          |
| (11)その他           | —                          |

※(10)及び(11)については任意記載。

## (3)情報提供方法

URL:<http://www.hokuto.ac.jp>

授業科目等の概要

| (商業実務専門課程 医薬品販売学科) 平成29年度 |      |      |         |   |         |      |     |      |    |          |    |    |    |    |         |
|---------------------------|------|------|---------|---|---------|------|-----|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類                        |      |      | 授業科目名   | 授業科目概要  | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 |    |          | 場所 |    | 教員 |    | 企業等との連携 |
| 必修                        | 選択必修 | 自由選択 |         |   |         |      |     | 講義   | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 |         |
| ○                         |      |      | パソコン演習Ⅰ | パソコンの基礎知識及び操作を学習しながら、表計算ソフト（Excel）の基本操作を習得する。                               | 1前      | 30   | 2   | ○    |    |          | ○  | ○  |    |    |         |
| ○                         |      |      | パソコン演習Ⅱ | PowerPointとWordの操作演習を通してプレゼンテーションの資料及びビジネス文書の作成方法を学習する。                     | 2通      | 60   | 4   | ○    |    |          | ○  | ○  |    |    |         |
| ○                         |      |      | サービス接遇  | サービス接遇検定3級の試験範囲の学習を踏まえ、相手に満足してもらうサービス接遇の具体的な考え方と言動を学習する。                    | 1通      | 60   | 4   | ○    | △  |          | ○  |    |    | ○  |         |
| ○                         |      |      | 一般教養Ⅰ   | 就職試験に対応できるように、一般常識や適性検査、小論文等を反復することで身に付ける。                                  | 1通      | 30   | 2   | ○    |    |          | ○  |    |    | ○  |         |
| ○                         |      |      | 一般教養Ⅱ   | 社会人として必要な一般教養を身につけ、就職活動に必要な作文、自己PR文等の書き方も習得する。                              | 2前      | 30   | 2   | ○    |    |          | ○  |    |    | ○  |         |
| ○                         |      |      | 手話      | 聴覚障害者とのコミュニケーションを円滑にし、ドラッグストアでの接客時の対応を習得する。                                 | 2後      | 30   | 2   | ○    |    |          | ○  |    |    | ○  |         |
| ○                         |      |      | スポーツ    | スポーツを通し、運動の楽しさや喜びを学ぶ。また、生涯を通じて継続的に運動できるようスポーツに対する関心を深め、健康管理の重要性を理解する。       | 2後      | 15   | 1   | ○    | △  |          | ○  |    |    | ○  |         |
| ○                         |      |      | 医学基礎    | 疾病や病態生理を学ぶ土台作りとして、人体の構造と働きを理解する。  | 1通      | 60   | 4   | ○    |    |          | ○  |    |    | ○  |         |
| ○                         |      |      | 薬理学     | 医療従事者、薬の専門家として、薬物治療における有効性・安全性を考慮し、登録販売者として必要な知識を習得する。                      | 1通      | 60   | 4   | ○    |    |          | ○  |    |    | ○  |         |
| ○                         |      |      | 登録販売者Ⅰ  | 医薬品の特性と基本的な知識、主な医薬品とその作用等を学び、地域に密着した医療・健康に貢献できるトータルコーディネーターを目指す。            | 1通      | 150  | 10  | ○    |    |          | ○  |    |    | ○  |         |
| ○                         |      |      | 登録販売者Ⅱ  | 主に薬事関係法規、制度及び医薬品の適正使用、安全対策を学び、登録販売者試験合格と地域に密着した医療・健康に貢献できるトータルコーディネーターを目指す。 | 2前      | 90   | 6   | ○    |    |          | ○  |    |    | ○  |         |
| ○                         |      |      | 接客対応Ⅰ   | ドラッグストアにおける接客の基本をロールプレイングを踏まえ習得する。  | 1前      | 15   | 1   | ○    |    |          | ○  |    |    | ○  |         |





|    |  |       |  |          |     |       |  |  |  |   |  |   |   |   |
|----|--|-------|--|----------|-----|-------|--|--|--|---|--|---|---|---|
| ○  |  | 実務実習Ⅳ | ドラッグストアのスタッフとして主に一般<br>用医薬品の販売業務を行う。その他、一般<br>用医薬品の情報提供及び相談の補助業務、<br>管理、貯蔵、陳列、広告に関する業務を行<br>う。（2年次4月～6月実施） | 2<br>前   | 240 | 8     |  |  |  | ○ |  | ○ | ○ | ○ |
| 合計 |  |       | 27科目   | 2175単位時間 |     | 113単位 |  |  |  |   |  |   |   |   |

| 卒業要件及び履修方法  |  | 授業期間等    |      |
|---|--|----------|------|
| 1年間に履修すべき授業時数は800時間以上とする。修業年限が2年以上の課程の修了に必要な総授業時数は1,700時間以上とする。 |  | 1学年の学期区分 | 前・後期 |
|   |  | 1学期の授業期間 | 15週  |

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。